



出水小学校 学校だより

そったく き
啐啄の機 No. 1

令和7年4月15日(火)

熊本市立出水小学校

校長：横山 幸生

ごあいさつ

令和7年度の定期人事異動で出水小学校に着任いたしました。校長の横山幸生です。歴史と伝統ある出水小学校に赴任できた喜びを心よりかみしめております。保護者や地域の皆様と絆を築き、子どもたち一人一人が自分らしく輝き、健やかに成長できるよう力を尽くしてまいります。

さて、本年度の学校だよりのタイトルを「啐啄の機」といたしました。「啐」とはヒナ鳥が卵からかえろうとしているときに内側からつつく音を表し、「啄」はそれに合わせて親鳥が外から卵をつつく音を表します。このヒナ鳥と親鳥が内側と外側からつつくタイミングが重要で、それが一致したとき殻が破れてヒナ鳥は生まれてくることができます。

このように、両者の動作が一致することで目的が達成される「両者が合い応じる得がたい好機」のことをいい、「啐啄同時」ともいいます。殻を破ろうとするヒナ鳥は出水小の子どもたちです。それを導く親鳥が保護者や地域の皆様、そして我々出水小の職員です。機に依じて「啄」を行うには、しっかりと子どもを見取り、音なき「啐」を感じ取ることが大切です。導く三者が一致団結して協力し合い、子どもの成長を促していきたいという願いを込めてこのタイトルにしました。どうぞよろしくお願いいたします。

～こんな学校を目指します！～

【学校教育目標】

『聴き合い 学び合い 支え合い』 笑顔があふれ、夢を育み合う子どもを育てる

【学校経営理念】

『学びの共同体』を中核に、「対話」による言葉の陶冶を通して、「確かな学力」を育成し、「自尊感情」と「共存の感情」を醸成することで、他者と協働しながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を構築しようとする人間を育てる。

【学校経営方針】

「子どもに笑顔を、保護者に安心を、地域に誇りを、職員にやりがいを」 実現する学校

【めざす学校像】

- ・子どもが安心して、安全に過ごせる学校
- ・一人一人が大切にされ、一人一人の笑顔が輝く学校
- ・子どもが互いの思いや考えを聴き合い、夢中で学び合う学校
- ・地域と共に歩み、地域と連携・協働する学校



【めざす子ども像】

- ・勤勉（勤しむ子） → 夢中で学び合う子ども
- ・明朗（明るい子） → 自他を大切にし、思いやりのある子ども
- ・健康（健やかな子） → あきらめずに挑戦する粘り強さをもつ子ども

【学校スローガン】 「全ては子どものために」